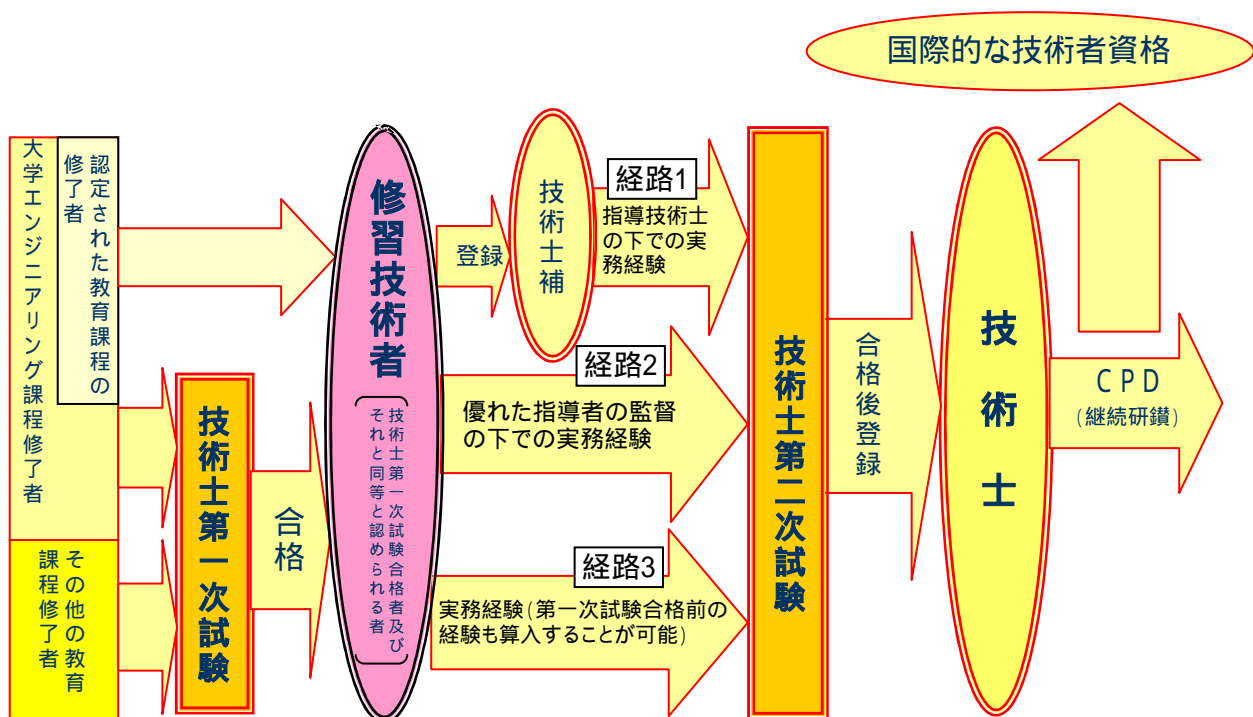


(参考)

## 技術士資格取得までの仕組み



技術士補となる資格(技術士第一次試験合格者及びそれと同等と認められる者)を有する者は、以下に示す3つの経路のうち、いずれかで経験を積み、受験申込みを行う時点で、以下のいずれかに該当すれば、技術士第二次試験を受けることができます。

経路1 技術士補に登録され、補助する技術士の下で4年(総合技術監理部門を受験する場合は7年)を超える期間の実務経験を積む

経路2 優れた指導技術者の下で4年(総合技術監理部門を受験する場合は7年)を超える期間の実務経験を積む

経路3 7年を超える期間(総合技術監理部門を受験する場合は10年)の独自の実務経験を積む

\* 技術士第二次試験受験申込み時点で既に7年(総合技術監理部門を受験する場合は10年)を超える実務経験を有する修習技術者は受験可能です。

\* 技術士第二次試験の受験に際しては、技術士補となる技術部門に限らず、全ての技術部門を受験することができます。